

日本経済新聞

運行記録計、半額で参入

対象車両拡大 需要増にらむ

ワーテックス

自動車関連機器のワーテックス(群馬県太田市)は、一般的な製品と比べて価格を半分程度に抑えたデジタルタコグラフ(運行記録計)を開発した。国は運行記録計の装着を義務付ける車両の対象範囲の拡大を決めており、今後さらに需要が見込めると判断した。早ければ今月中にも発売する。

同社が開発した「XD T-1」は価格を5万5000円(税別)に抑えた。通常は運行情報を管理するソフトウェアを別途購入する必要があるが、同商品は標準付属し

ている。時間、距離、速度の記録など機能を絞り込んだことで低価格を実現した。

国土交通省は交通事故の防止のため車両総重量8ト以上のトラックについては運行記録計の搭載を義務付けているが、来

年度以降の新車については、7ト以上に対象範囲が広がられる。

同社はドライブレコーダーなどトラック運送業向け製品の販売に力を入れており、来年3月末までに1万台の販売を目指す。